

2020年11月

鉄道の混雑緩和に資する情報提供のあり方に関する勉強会の設置について

1. 背景・目的

これまで大都市圏の鉄道において、通勤時に慢性的な混雑が続いていたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、混雑が緩和された。今後、テレワーク等の新たな働き方の進展など社会情勢が変化していく中、引き続き、通勤時における鉄道の混雑緩和を図り、鉄道のサービス水準を向上していくことが求められる。

こうした状況の下、バスについては、「公共交通機関のリアルタイム混雑情報提供システムの導入・普及に向けたあり方検討会」において、混雑情報の提供に当たっての留意すべき事項を整理したガイドラインが策定されたところであるが、鉄道においても、これまで進めてきた「混雑の見える化」について、利用者にとってさらに使いやすく、わかりやすいものとし、鉄道利用者の自発的な混雑回避を促進するための情報提供のあり方について検討を行い、「鉄道の混雑緩和のための情報提供にかかるガイドライン(仮称)」として取りまとめることとする。

2. 構成員

学識経験者、鉄軌道事業者、行政機関等(委員名簿参照)
(事務局:国土交通省鉄道局都市鉄道政策課)

3. 検討内容

- ・鉄道事業者・コンテンツプロバイダ等の取組の整理、課題の抽出
- ・鉄道利用者の混雑回避に資する要因の抽出
- ・混雑回避を促すために有効な情報内容や提供手法等の検討、課題の抽出等

4. スケジュール

勉強会を3回程度開催し、年度内のとりまとめ・公表を目指す。

なお、会議はオンラインで開催し、非公開とする。

(議事次第等、一部資料については国土交通省 HP にて公表予定)